



くらし第1 市民の声を聞く市政に 中林議員が 代表質問でもとめる

二七日、市議会六月定例会で日本共産党の中林議員が代表質問を行いました（代表質問全文は前回）。

ページに掲載)。

廃プラ処理施設 健康調査の実施を

民間廃プラ施設の健康被害の問題について、住民の健康被害の状況を述べ、①住民の声を直接聞きに行くこと。②住民の健康実態の把握のために、すぐに健康調査を行うこと。
③住民の気持ちを逆なでするような広報

「健康調査をしない理由を並べているのは、健康調査をすると健康被害が明らかになるからだと言わざるを得ない。市には、住民の健康被害を食い止める責任がある。一刻を惜しんで健康調査をすべき」と主張しました。

での安全宣言の撤回を
もとめました。

各種洞色 國

各種減免制度の 周知を

中林議員は、大型開発優先を改め、くらし第一の市政、市民の声を聞く市政へ見直すよ

うもとめました。

また、高い国民健康保険料の引き下げと、すでに、大阪府下四三市町村中、三三市町村、約七四%の自治体で実施している介護保険料の、市独自の減免制度を創設するよう求めました。

讀員日誌

中林
かずえ

高い国保料、介護保険料の軽減を

害の原因（施設とか食品）と体への影響との因果関係を、明らかにするための科学的方法論です。

実際に人間の身体に起こっている被害を調査することが、疫学調査であること理解できました。

被害者の立場に立つて、被害を広げないという明確な方向を持たれていることにとても励まされました。

「呼んでくれたら、いつでも寝屋川市に行きます」との言葉とともに。